

令和 4 年度の災害対応について

令和4年度の特別警報・警報等発表状況

警報等種類		発表回数	備 考
特別警報	大 雨	—	
警 報	暴 風	—	
	暴風雪	—	
	大 雨	2	7月27日、9月24日
	高 潮	—	
	波 浪	3	4月16日、6月7日、9月19日
	大 雪	—	
	洪 水	—	
地 震（震度4以上）		2	4月19日 茨城県北部地震（最大震度：5弱） 日立市：震度4 3月24日 茨城県北部地震（最大震度：4） 日立市：震度4

令和4年度の主な災害対応

月	事象	会議体制
8月	台風8号	災害警戒体制本部（8/12,13）
9月	台風14号	災害対策本部（9/19, 20）
1月	大寒波（降雪及び凍結）	災害対策本部（1/25）

1. 台風14号の接近に伴う対応

＜台風14号の概要＞ 令和4年9月19日

総降水量	: 61.5mm (日立市役所)
最大瞬間風速	: 14.0m/s
大雨注意報	: 9月19日14時13分～20日11時20分
波浪警報	: 9月19日21時08分～20日10時27分

＜避難所の開設及び避難者数＞

開設時間	: 9月19日20時～20日6時30分
避難所開設	: 市内11カ所
避難者数	: 2名

<台風14号による被害状況>

被害内容	件数	備考
倒木	1件	諏訪町地内の市道



倒木被害（諏訪町）

2. 大寒波（降雪及び凍結）に伴う対応

<大寒波の概要> 令和5年1月24日から26日

日立市役所における最低気温：マイナス5.6度 25日

// 最高気温：マイナス0.6度 25日

積雪 : 24日 2 cm

// : 25日 1 cm

※ 25日は、日立市の観測史上初めて「真冬日」を観測

<道路の凍結対応>

1月23日 市内各所の道路パトロールを実施

1月24日～26日

主要幹線道路等の融雪剤散布及び安全確認の実施

<大寒波による被害状況>

被害内容	件数	備考
凍結による転倒	10件	9名（軽傷） 1名（不搬送）
車両スリップ事故	41件	
通行止め箇所	1件	広域農道 （市道22号、市道9742号）
宅内水道管の凍結	17件	

合計 69件



通行止めとなった広域農道



宮田小学校の高架水槽に給水を実施している様子

令和 4 年度の防災訓練実施状況について

1. 自主防災訓練実施状況

23学区コミュニティごとに組織される自主防災組織では、新型コロナウイルス感染症への対応に配慮しながら、地域特性に応じた様々な訓練が行われた。

種 別	内 容
実施回数	28回（令和3年度 17回）
実施学区数	22学区（令和3年度 16学区）
参加人数	6,240人（令和3年度 1,017人）
学校との連携状況	小・中学校と合同で実施 11学区 （令和3年度 4学区）
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none">・避難訓練・避難所開設運営訓練・避難行動要支援者避難訓練・防災講話 など

訓練の様子①

○本部設置訓練



○小学生による資機材取扱訓練



○中学生による資機材取扱訓練



○避難行動要支援者避難訓練



○応急担架作成訓練



○蓄電池取扱訓練



訓練の様子②

○マンホールトイレ設置訓練



○応急給水タンク設置訓練



○初期消火訓練



○消防士による救急教室



○地域の防災士による防災教育



○民間企業による防災用品展示



2. 中学校を会場とした避難所開設訓練

中学校を会場に各種災害に備え、市と自主防災組織の連携強化及び避難所運営体制の確立を目的として、避難所開設訓練を実施した。

日 時

令和5年2月13日（月）から2月22日（水）まで
※各学校と調整した日時（訓練時間：1時間30分程度）

場 所

避難所となる中学校（13箇所）※中里小中、久慈中を除く

参加者

各コミュニティ、各学校教諭、市職員等 合計：364名

内 容

No.	項 目	内 容
1	防災備蓄倉庫確認訓練	防災倉庫の位置や動線、備蓄品の確認
2	資機材取扱訓練	IP無線、タブレット、パーティション、投光器、発電機等の取扱い
3	避難所レイアウト確認訓練	受付、記載台、パーティション等の配置や避難所内の動線の確認
4	感染症対策及び体調不良者への対応について	保健師によるフローチャートを用いた避難者の振り分け方法の確認など

訓練の様子

○ZOOMによる通信訓練



○防災備蓄倉庫確認訓練



○資機材取扱訓練①



○資機材取扱訓練②



○保健師による避難者の振り分け方法の説明



○避難所レイアウト確認訓練



3. 放射線防護施設運営訓練

放射線防護施設の運営や避難者受入れに係る手順について、訓練を実施した。

日時等

- ・ 水木交流センター
令和4年12月20日（火）午前9時から正午まで
- ・ 大沼交流センター
令和5年3月10日（金）午前9時から正午まで

内容

- ①通信訓練 ②職員派遣訓練 ③避難者受入訓練
- ④放射線防護設備の操作訓練

訓練の様子

○通信訓練



○避難者受入訓練



○放射線防護設備の操作訓練



4. 企業局防災訓練

大規模漏水や地震、津波発生時における職員の対応力向上を図るため訓練を実施した。

日時

令和5年2月1日（水）午前8時30分から正午まで

場所

市役所本庁舎、兔平低区配水池、池の川さくらアリーナ 外

内容

①事故対策本部設置運営訓練 ②情報伝達訓練 ③応急給水訓練
④広報訓練 ⑤応急復旧訓練 ⑥応援要請訓練 ⑦マンホールトイレ設置訓練

訓練の様子

○事故対策本部設置運営訓練



○応急給水訓練



○マンホールトイレ設置訓練



5. 林野火災消防演習

林野火災の特殊性及び困難性を考慮し、防災関係機関が共同で訓練を実施することにより、関係機関相互の連携強化を図るため訓練を実施した。

日時

令和5年2月26日（日）午前10時から午前11時まで

場所

日立市大みか町7-1 日立製作所日立研究所敷地内

内容

- ①指揮本部運用訓練
- ②延焼防止及び飛火警戒訓練
- ③ジェットシューター消火訓練
- ④防災ヘリ、ドローン等による情報収集・伝達訓練

訓練の様子

○延焼防止・飛火警戒訓練（ウォーターカーテン）



○ジェットシューター消火訓練



○防災ヘリ「つくば」上空偵察



6. かみね動物園猛獣脱出対策訓練

「日立市地域防災計画・事故災害対策計画編 猛獣等脱出対策計画」に基づき、非常事態に備え、関係機関への通報や来場者の避難誘導、猛獣の捕獲訓練を実施した。

日時

令和5年2月15日（水）午後1時30分から午後2時30分まで

場所

日立市宮田町 かみね動物園内

内容

- ①現地本部設置運用訓練
- ②初動対応訓練
- ③関係機関への通報、連絡訓練
- ④来場者避難誘導訓練
- ⑤猛獣捕獲訓練

訓練の様子

○現地本部設置運用訓練



○園内バリケード設置



○猛獣(ツキノワグマ)捕獲訓練



7. その他の訓練

- (1) 日立市総合防災訓練（令和4年11月5日（土））
※別資料記載のとおり
- (2) 津波防災講演会（令和4年11月4日（金））
※別資料記載のとおり
- (3) 小学校避難所開設・運営訓練（令和4年7月28日（土））
※新型コロナウイルスの影響により中止
- (4) 瀬上川・落見川水門の遠隔操作訓練(令和5年2月20日(月))

令和 4 年度の防災対策事業報告について

1. 災害時情報収集・伝達体制の充実

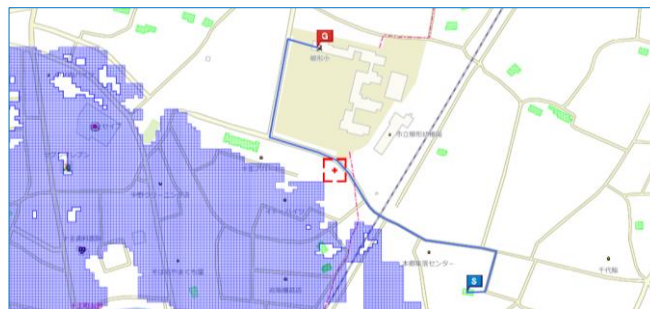
目的

市民の避難体制及び情報伝達に必要なシステムや機器類を整備し、住民データ及びハザード情報の可視化を行い、住民情報の適正な管理及び情報配信の円滑化を図る。

主な事業内容

(1) 避難行動管理システムの整備

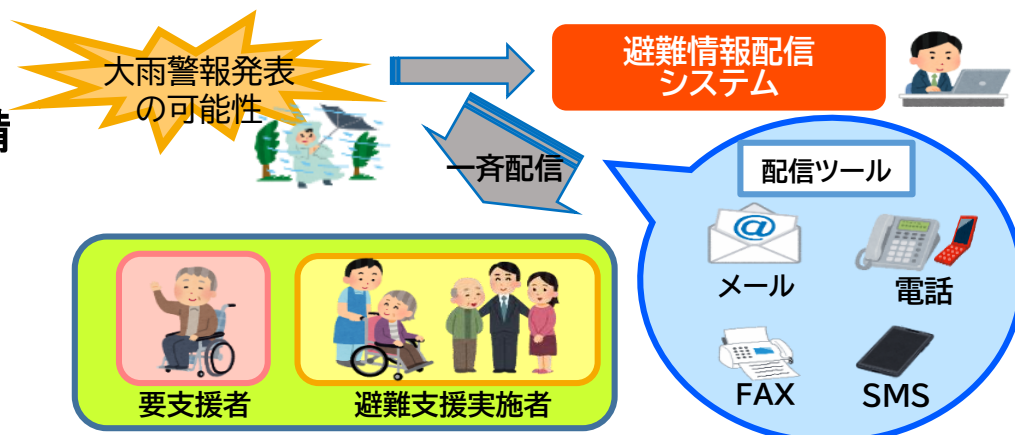
- ア 地図上で住民（避難行動要支援者）の位置やハザードエリア情報を可視化できるシステムを整備
- イ このシステムを活用することにより個別避難計画を管理することが可能



※ 避難行動要支援者の情報と洪水ハザードの情報を重ね、自宅から指定避難所までの避難経路を明示した場合のシステムのイメージ

(2) 避難情報配信システムの整備

災害の状況に応じ、避難行動要支援者や避難支援実施者等にピンポイントで避難情報等を一齐に配信することができるシステムを整備



※受信者側が配信ツールを選択

2. 総合防災マップの作成・配布

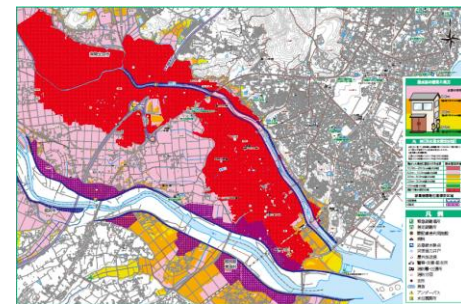
目的

市内の危険箇所等を市民に啓発する5種の既存ハザードマップ等に、内水浸水想定区域図を加え、1つにまとめた総合防災マップを市民に配布することで、危険箇所を一目で把握できるようにし、住民の防災意識の向上と避難力の向上を図る。

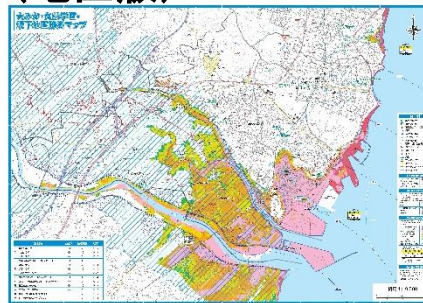
主な事業内容

- (1) 冊子版総合防災マップ (B4サイズ48P)
施設利用者の閲覧用として市内の公共施設等に数冊ずつ配布
- (2) 地区別防災マップ (A1サイズ8つ折り)
市内を8つの地区に分割し、該当地区分のマップを市内全世帯に配布
- (3) Web版ハザードマップ (英語版有り)
一般用として広く公開

(冊子版)



(地区版)



(Web版)



3. 地域の防災リーダーの養成・育成支援

目的

地域の防災リーダーの担い手となる人材を増やし、自主防災組織リーダーとして活躍できる人材を育成するため、日立市で防災士養成講座を開催するとともに、茨城県が実施している「いばらき防災大学」への参加を促進する。

主な事業内容

(1) 日立市防災士養成講座の開催

- ・開催日 令和5年1月21日（土）・22日（日）
- ・場所 日立市役所
- ・受講者数 54名

(2) いばらき防災大学への参加支援

令和4年9月水戸会場（コミュニティ関係者3名受講）

～防災士とは～

自助・共助・協働を原則として、社会の様々な場で、防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を習得したことを、日本防災士機構が認証した人



日立市防災士養成講座の様子

4. 総合防災訓練の実施

目的

地域防災力の強化及び市民の防災意識の向上を図るため、各コミュニティや関係団体と連携し、様々な災害を想定した実践的な防災訓練を行う。

主な事業内容

- ・ **日時** 令和4年11月5日（土） 午前8時から正午まで
- ・ **訓練項目** 災害対策本部運営訓練（市役所本庁舎災害対策本部室）
避難所開設・運営訓練（久慈中学校、坂本小学校）
住民避難訓練（久慈川日立南交流センター、神田町洪水避難タワー）
大規模災害事故対策訓練（日立市消防本部拠点施設防災広場）
- ・ **参加機関** 日立市、久慈学区コミュニティ推進会、坂下地区コミュニティ推進会、日立市地域医療協議会（日立市医師会、消防、警察等）、東京ガスネットワーク、東京電力パワーグリッド、NTT東日本、茨城トヨタ自動車、砂川産業、茨城キリスト教大学、茨城県、水戸地方气象台、茨城海上保安本部
- ・ **参加者数** 865名

訓練の様子

○災害対策本部運営訓練



○避難所開設・運営訓練



○マイタイムライン講習会



○住民避難訓練（避難タワー）



○大規模災害事故対策訓練



○終了式の様子



5. 津波防災講演会の開催

目的

東日本大震災の津波被害を語り継ぎ、防災についての理解と関心を高めるとともに自主防災組織等の活動の促進など地域防災力の向上を図る。

主な事業内容

- ・ 日 時 令和4年11月4日（金）午後1時から午後3時まで
- ・ 主 催 日立市、茨城県、水戸地方気象台
- ・ 場 所 日立シビックセンター（音楽ホール）
- ・ 講演内容
 - (1) 【第一部】 講演
テーマ：「東日本大震災の津波体験談について」
講 師：日立埠頭株式会社 総務本部 総務部長 志智 俊郎 様
 - (2) 【第二部】 震災体験談
○大みかコミュニティ女性防火クラブ 会長 橋本 弘子 様
「3. 11 その時私たち女性防火クラブは」
○久慈学区コミュニティ推進会 会長 石川 善憲 様
「震災から得た教訓と備え」
 - (3) 【第三部】 朗読「稲むらの火」、「つなみについて」 フリーアナウンサー 大澤 幸子 様
 - (4) 【その他】 東日本大震災パネル展示、非常食配布など

講演会の様子

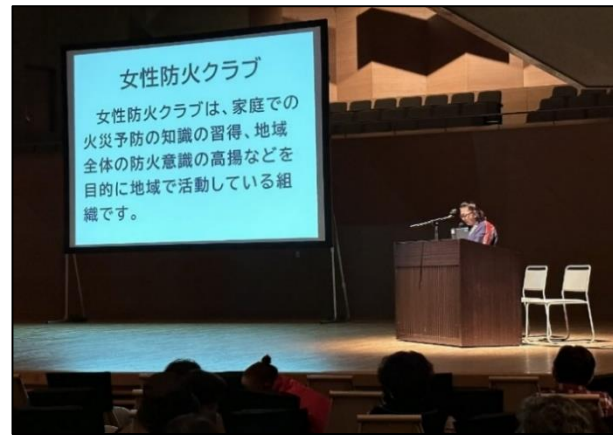
○会場の様子



○日立埠頭(株) 志智様



○大みかコミュニティ女性防火クラブ 橋本様



○久慈学区コミュニティ推進会 石川様



○朗読 フリーアウンサー 大澤様



○震災パネル展示 (県)



令和 5 年度の防災対策主要事業について

1. 防災訓練推進事業

I. 自主防災組織の育成

目的

- ・ 地域防災力の強化及び市民の防災意識の醸成を図るため、災害発生初動時において最も重要な「共助」の役割を担う自主防災組織の活性化に資する支援を行う。

主な事業内容

(1) 自主防災組織の育成・強化支援

- ア 各コミュニティへの自主防災訓練経費及び防災資機材・啓発用品購入に対する補助の継続
- イ 地域特性に応じた様々な災害を想定した訓練の実施
- ウ 各コミュニティと学校・ライフライン事業者・福祉事業所・地域中小企業等又は防災士等有識者との連携コーディネート



企業等と連携した訓練の例（R4年度総合防災訓練・久慈中）

(2) 自主防災組織トランシーバーのデジタル化支援

電波法令の改正に伴い、令和6年11月をもって現在のトランシーバーが使用不可となることから、デジタル化更新費用を補助



デジタル対応のトランシーバー

Ⅱ. 市主催の防災訓練等の推進

目的

- ・ 自主防災組織や防災関係機関と連携し、東日本大震災や令和元年東日本台風の教訓、実効性ある訓練を推進し、災害対応力の強化を図る。
- ・ 防災活動をけん引する地域の防災リーダーを養成・育成し、地域防災力の更なる維持・向上を図る。

主な事業内容

(1) 市主催の防災訓練等の実施

- ① 避難所開設運営訓練 (23小学校) 7/29実施 (参加者:439名)
- ② マイタイムライン講習会 6/4実施 留町 (参加者:30名)
6/10実施 十王・豊浦地区 (参加者:64名)
- ③ 防災関係機関通信訓練 (ライフライン事業者4団体) 6/7実施 (参加者:10名)
- ④ 避難行動要支援者避難支援訓練 (10・11月実施予定)
- ⑤ 要配慮者施設避難確保訓練 (10・11月実施予定)
- ⑥ 瀬上川・落見川水門操作訓練 (R6.2月実施予定)



* マイ・タイムライン講習会の様子
(十王・豊浦地区)

(2) 日立市防災士養成講座の開催

令和5年8月26・27日、日立市役所本庁舎、受講者82名

(3) ひたち防災士ネットワークの運営

市内に所在する防災士で構成する組織を令和5年3月に設立、防災士のスキルアップのための勉強会や視察研修会を開催予定



避難所開設運営訓練 (小学校) の様子

2. 防災体制整備事業

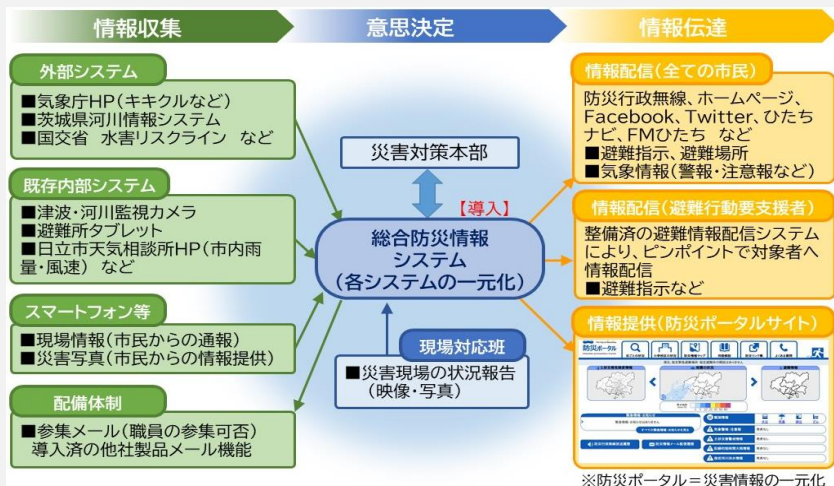
目的

- リアルタイムに自動で災害情報等を収集、管理し、正確で迅速な情報を、必要とする市民にピンポイントに伝達することができる体制を構築する。

主な事業内容

(1) 総合防災情報システムの導入検討

災害時の気象情報、被害情報、避難所の情報等を一元管理し、避難情報等を各種メディアに一齐配信することができる総合防災情報システムの導入を目指す。



(2) 避難情報配信システムの改修

避難行動要支援者の避難支援対策として整備した情報配信システムの配信ツールにLINEを追加とするとともに、システムを活用し、平時から安全・安心情報等を配信する。



3. 災害危険箇所対策事業

目的

市内各所に存在する地震、津波、洪水、土砂災害、冠水・内水氾濫等の災害危険箇所の的確な把握に努めるとともに、超高齢社会の到来に伴う避難行動要支援者の増加や、避難先となる小中学校の統廃合などの社会情勢の変化を踏まえた防災・減災対策を講じる。

主な事業内容

(1) 総合防災マップによる啓発

災害危険箇所情報や防災啓発情報を一つにまとめた総合防災マップを活用し、各種防災対策事業等に活用することで、住民の防災意識と避難力の向上を図る。



(2) 避難所の在り方・体制の見直し

災害危険箇所への着実な減災対策の推進と、福祉避難所のニーズ増加や学校再編による小中学校の統廃合を踏まえ、開設する避難所の考え方、自主防災組織等との役割分担の明確化を図るとともに、運営体制の見直しを検討する。



令和4年度に整備した神田町洪水避難タワー

4. 避難所等環境整備事業

目的

大規模災害に備え、必要となる備蓄品を整備するとともに、プライバシーの確保や新型コロナウイルス感染症への対応など、多様化する避難所ニーズに適切に対応する。

主な事業内容

(1) 防災備蓄倉庫の実態調査の実施

市内69カ所に設置した防災備蓄倉庫の実態調査を実施し、避難所から距離のある備蓄倉庫の移設、倉庫周辺の舗装整備を検討するなど、避難所運営環境の向上を図る。



台原中学校の防災備蓄倉庫

(2) 備蓄品の整備

ア 停電時のWi-Fi機器の電源設備及び避難者の携帯電話・スマートフォンの充電用として中学校14校に蓄電池を整備する。

(小学校23校は、R3・4年度に整備済み)

(スマートフォン約160台の充電が可能)

イ 避難所の寒冷対策として寝袋、給湯確保策として電気ケトルを小中学校37カ所に整備する。



小中学校避難所に整備予定の寝袋・電気ケトル

